

平成29年度 児童館 反省及び課題

<p>高栄児童センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 一部の検定等を扱う行事で、日数が少なすぎたせいで練習に充てる時間が多くなってしまい本検定へ繋げる事がなかなかできなかった。 四季折々の行事を入れる事で子ども達自身も季節の変動を意識していたと感じる。 乳幼児の利用が減少していることから、PR等により利用者を増やしていきたいと感じた。 	<p>三輪児童センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 行事や普段の活動を通して、子ども達が様々な事をできるようになったり、遊戯室や外遊びなどの活動では体力の増進が図れた。 乳幼児活動も毎週木曜日のプログラムだけでなく、午前中の児童センターの開放をアピールしたこともあり、プログラム以外の利用が増えてきている。 秋に予定していた共催事業が天候不良のため延期したにも関わらず中止になってしまったのが残念だった。
<p>北光児童センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児親子活動を通して地域におけるコミュニティーの場となるよう地域の保育園とのプログラムを行う等、努力した。 児童が安全に楽しく遊べる児童センター作りと世代交流、異年齢交流を含めた集団活動の中で、社会性を養うための活動を考え、基礎となるセンターの方針を職員で共有し確認し合い進めていく。 沢山の活動に参加する事でやればできる！と励まし、挑戦する事、出来た事の達成感を十分に味わうことにより自信をつけている児童の成長を見てきた。今後も同じように児童の成長を見守り励ましていきたい。そのために保護者の理解を深めていき、十分なコミュニケーションをとることを行っていきたい。プログラム活動・自然活動(畑つくり・外遊び)と通じ地域との会話や挨拶にもつながっていたように思う。 	<p>美山児童センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 行事を通して、新しい事に挑戦したり、頑張る中で、成長していく姿が見られた。 夏祭りでは、学校や地域の人たちと連携しながら交流を深めることができた。 乳幼児の利用は少なかったが、後半は少しずつ増えてきたので、今後も親子で楽しめるようなプログラムを検討していきたい。
<p>緑児童センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 行事を通して季節を感じながら、異年齢交流の場として過ごすことが出来た。 地域共催行事では、地域の方々とのつながりや連携を通して、楽しい行事となっていた。 乳幼児子育てふれあい事業では、新規の利用が増えるよう取り組んでいきたい。 	<p>南仲町児童センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 四季折々の季節を感じることでできる行事が展開できた。 乳幼児プログラムは年度初めの利用がほとんどなく、定着するまで時間がかり後半は多少利用が増えてきたので、チャイルドアドバイザーなどの行事を後半に実施することでより多くの利用者を確保する。
<p>とん田児童センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体的に体力活動・文化活動の割合も良く1年を通して様々な成長が見られた。 共催行事では、夏まつりは昨年度に続き雨天となり2年連続センター内で行うこととなった。冬まつりでは保護者の協力もあり盛り上がりのあるゲームとなった。 乳幼児プログラムは病院などにポスター掲示などの依頼を行い、前年度より来館数が増えた。今後も来館しやすいような雰囲気作りと楽しめるプログラムを考えていきたい。 	<p>美芳児童センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節行事に向けて飾りつけなどを行い、活動を通して季節を感じることができた。 地域交流事業では、多くの地域の方々が、子どもたちと一緒に交流し楽しいひと時を過ごすことができた。乳幼児子育てふれあい事業では、隣接する公園を利用したプログラムが好評であった。
<p>三楽児童センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 高学年が中心となり低学年をまとめて活動が出来た。行事においても、子ども達の現状に合わせて柔軟に対応することが出来た。 伝承遊びや検定の時間が少なかったように感じるので、自由遊びの中で職員の声掛け等を積極的に行う必要があった。 	<p>東児童センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動を行う中で、集合し話を聞く場面が多くあったが、話を聞く姿勢や態度を注意することが多いことから、一人一人の話を聞く姿勢が身につくよう指導していく。 行事やプログラムに対し、一生懸命取り組んでおり、技術の向上に繋がった。 前年度と比べ利用者が減少したことから、乳幼児親子の利用には、PR等の重要性を感じた。
<p>小泉児童センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度初めは来館の多さや慌ただしさから怪我が多くなってしまい、活動の進め方について職員間で日々話し合い、事故防止に努めた。 乳幼児親子の利用に繋がらず、周辺施設へポスターの掲示を行えばよかった。 共催行事の地域育成者の手伝いが数名しかいなく、今後の課題となった。 	<p>相内児童館</p> <ul style="list-style-type: none"> 遊びや行事を行う中で高学年生が低学年生を補助する事が出来ていた。 小学校等との連絡や情報のやり取りなどがスムーズに行われた。 乳幼児親子の利用が減少したことから、PR等により利用者の確保に努める。
<p>東相内児童センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 集団での活動を多く取り入れることにより、異年齢間交流の機会を多く持つことができ、社会性や相手を思いやる気持ちを育むことへ繋がった。 高学年が行事に積極的に関わる姿を通し、自主的に行動しようとする挑戦にも繋がり児童の成長が見られた。 地域との交流の機会が少なかったので、今後検討していきたい。 	<p>上ところフレンドセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> 集団遊び等を通して異年齢間交流が深まった様に思う。今年度は高学年のプログラム参加が多く、リーダーとして力を発揮した。 「できた！」という成功体験や、失敗しても見守り励ましてくれた等様々な経験を積み重ねる事で、児童がより積極的に自主的な活動となる様に、継続して環境作り整備を行っていきたい。
<p>端野太陽っ子児童館</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童館夏祭り・サンサンピックなど児童館ならではの活動が展開できた。 乳幼児親子の利用が安定し、見通しを持ったプログラムの提供ができた。 	<p>常呂児童館</p> <ul style="list-style-type: none"> 四季を感じられるプログラムを用意し、利用者は楽しみに参加していた。 それぞれの得意なことを活かすことが出来るよう、活動に偏りが出ないよう配慮した。苦手な事にも取り組めるよう、魅力的なプログラムを用意していきたい。 乳幼児プログラムは、子育て相談センターと連携したプログラムも取り入れ、利用者が増加した。
<p>留辺蘂児童館</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体的に幼さを感じるので、異年齢との様々な活動を通し、児童が自ら考え行動・言動していき、自立に向けた成長ができるよう職員全体で指導していきたい。 	<p>温根湯温泉フレンドセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学月間の日数が多かったため、日数の改善 ドッジビー・ドッジボール大会の期間があきすぎたので、回数を多く取り入れる 季節に応じた行事が少なかったことから、季節行事を追加する。